

「生命の歴史をさぐる」 鳥居松小学校では、毎年「いのちの学習」をしています。6年生では、生命の進化の歴史と母の子宮内で胎児が過ごす 10 か月の成長について学習しました。6年間の総まとめの学習をし、子どもたちが真剣に「いのち」について考えて書いた授業の感想を、一部ですが紹介します。

命は、昔に生きていた人とつながっている。親がいたからぼくが生まれたのは本当に感謝しております。赤ちゃんが水の中にいると聞いて、びっくりしました。赤ちゃんが息ができないので、お母さんが酸素を送ると聞いて、本当に親に感謝だなと、この授業で気が付きました。

最初は、私は、生まれてこなければよかったと思っていた。でも、この授業で、生まれてくることは、大切だと感じた。

「いのち」はとても壮大なものだと思った。46 億年前に地球が生まれ、それからずっと、私たちの祖先が私たちまで命をつないでくれたと思うと、なかなか、感がい深いものがあった。改めて命って、すごいなと思った。ありきたりな言葉だけど、私たちがこの星に生まれ、そしてこの鳥居松小学校に入学してみんなと一緒に「6 年 1 組」に進級できたことに、すごく感動した。

地球に生命が誕生し、個々に生まれてくるまでの時間がすごく長くて、びっくりした。成長したら全然見た目が違う動物でも最初はほとんど同じ姿ということを知ったので、この授業はすごく勉強になった。原生動物が誕生してから人の姿になるまでのもっと細かい説明を聞いてみたいと思った。

命は、生命の歴史を通して続いているものだと分かった。いろいろな生物が進化して、今の自分の命ができていると知った。

最初、受精後「2週間の絵を描いて」と言われて、鉛筆で「チヨン」として黒い丸を描いていたけれど、この授業を受けて、全然違うということが分かった。これからは、いのちを大切にしようと思った。

つないでくれた命を大切にしたいと思った。



「命はすごい」と思った。人間は奇せきの連続で生まれてきていると思う。まず、精子が卵子に進入(受精)して、受精卵になることじたいが奇せきだ。そして、羊水や胎盤があることもすごいことだ。

10 か月かけて成長して生まれてきた私たち。自分の命を大切に、これからも生きていきたいです。育ててくれたお母さんに感謝して恩返しをしたい。

自分の命が46億年前という大昔(地球が誕生したとき)からつながっていることに、びっくりしました。最初は 0.14mmで、とても小さいけれど、母と協力して50 cmにもなり生まれてくると知り、とても驚きました。

動物の受精後2週間の形(姿)が、私たち人ととてもよく似ていてびっくりしました。そして大きくなって全然違う動物になっていくからおもしろかった。命のつながりを大切に、命を大切にしていきたいです。

赤ちゃん自身も頑張ってる生まれてくるのが分かったので、命の誕生というのはとてもすごいことなんだと改めて感じた。

一つの命が誕生して生まれるまでに、ものすごい過程があるのを知ることができた。この先、なにがあるか分からないけれど、人の命を大切に生きていこうと改めて思いました。自分の命も人の命も大切に生きていきたいです。

成長していくのが思った以上に早かった。赤ちゃんは10か月で生まれることを知らなかった。赤ちゃんの成長が生き物の進化と同じようなもので、すごく不思議に思った。今日は、かなり深いところまで知れたので、これまでより授業がとても楽しかった。

38 億年も前から私に命がつながっていたなんて、とても驚きました。最初は 0.14mmなのに、今は 150 cm 近くあることにびっくりしたし、すごいと思った。社会で歴史を習ったけれど、(地球や生命の歴史を考えると)習ったのはほんの少しなんだなと思いました。

命は大切だなと思った(人生、生きられるのは1回のみ)。



写真を見て生命の歴史を知れてよかった。これからも、いろいろなことを学んでいきたい。

生まれてくる確率はとても低くて、地球に生命が生まれたのは奇せきだと思う。46億年も昔に地球ができたのもすごいと思う。

今まで以上にこの人生を楽しんで生きていきたい。

自分の命は、38億年前からつながっていてすごいと思った。今日の学習で、じぶんや様々な人の生命の歴史を知ることができた。ヒトが生まれたのは意外にも、600 万年前と最近なので、びっくりした。胎児は意外にも後半に大きく成長するんだなと思った。何度か学習したことなのに、初めて知ったことがたくさんあって、今回の授業はとても楽しかった。

5 か月(胎児)のときは、目の形があるけれど、白いところや黒い目玉もない(ように見えた)ので、どうやって、目が出来上がっていくのかも知りたいと思った。

命の誕生の難しさや大切さを学べたので、これを忘れないようにして、中学校でも友だちを大切にしていきたいと思った。

私を産んでくれたお母さんに感謝です。



人間は 600 万年前に誕生したということが分かった。赤ちゃんは10か月ぐらいで生まれるということについては、ぼくは長いなと思った。

知りたいことがたくさんあります。

10か月間、おなかの中で、心臓や血液、肺などを作りながら少しずつ大きくなっていて、とてもすごいことだなと思った。今ある命を大切に、病気や事故で生きられなかった人の分まで生きていきたいと思った。

命は生きている人全員がもっているものだけど、一人一つしかないものだから、たった一度の人生に、傷つけるようないじめをしたり、悪口を言ったりするのではなく、人をほめる言葉をかけたり、困っている人を助けたりできる人になりたいと思った。

どんな命でも、たった一つの命だから、自分の命も人の命も大切にしたいと思った。

命は、人と人との協力によって生まれるんだなと思った。これから先、辛いことがあっても、死にたいと思わず、乗り越えて限界まで生きようと思った。

これからも、お母さんやお父さんやお世話になっている人にも、感謝の気持ちを忘れずに生きていきたい。



人は、今まで、全員が助け合って生きてきたことを知って、ぼくは、だれかがつらいときに助けてあげることががんばろうと思いました。

地球上の命も、人の命もすべて、助け合って、たくさんの人のおかげで成り立っているんだなと思った。

命は大切に、生きたくても生きられない人もたくさんいるので、自分の命をもっとも大切にしていこうと思った。

これからも、つないできた命を大切にしたい。

大けがをしたり、いろいろとやらかしてしまったりしたことが多かったけれど、なんだかんたいて、生きていてよかったなと思った。

本当に少ない確率の中で生まれてきた。自分だけでなく、他の人の命も大切にしたいと思った。

いのちは大切ということは知っていたけれど、この授業を受けて、もっとも命が大切だということがわかった。

お母さんやお父さんに感謝したいと思った。そして、命が大切ということがわかった。

家族も自分もとてもがんばって生まれてきたので、もつと自分を大切にしようと思った。そして、ここまで大きくなれたのは、今まで知り合ったみんなのおかげなんだということが分かりました。

命はとても尊いものだと思った。自分の親に痛い思いをさせて生まれてきたし、生まれたくても生まれられない人や生きたくても生きられなかった人がたくさんいるので、その人たちの分も生きていかないといけないと思う。

他にたくさんの生き物がいるけれど、人間に生まれてよかったと思うので、この命を大切にしていきたいと思う。

生きていること、生まれてきたことに感謝して命をもつと大切にしようと思った。

〈6年生のみなさんへ〉 2時間の授業の中で、いのちについて、これからの生き方について真剣に考えることができましたね。あなたたち一人一人には、素晴らしい心が育っています。感想を読み、たのもしく思いました。

卒業後も、自分のいのち、友だちのいのちを大切に、友だちと高め合い、学び合い、希望をもって中学校生活を送ってください。みなさんの心身の成長を心から期待します！